



—第 28 号—

地域・だいがく連携通信 —神戸大学地域連携ニュース—

神戸大学地域連携推進室
〒 657-8501
神戸市灘区六甲台町 1-1
TEL : 078-803-5391
FAX : 078-803-5389
E-mail : ksui-chiiki@office.kobe-u.ac.jp

神戸大学が丹波篠山市功労者表彰を受賞しました

長年にわたって官学連携による地域づくりに貢献した功績により、本学が令和 2 年度丹波篠山市功労者表彰（表彰部門：ふるさと功労）を受賞しました。

文化の日である 2020 年 11 月 3 日、秋晴れのもと丹波篠山市民センターにおいて表彰式が執り行われ、学長代理として、田中丸治哉地域連携推進室長が出席しました。自治会長、民生委員、学校医など 31 名の個人、本学を含む 3 団体が表彰され、本学は「多年にわたり農村課題への実践的な助言ならびに地域づくりを担う人材育成に尽くした功績は顕著である」として、ふるさと功労による表彰を受賞しました。酒井隆明丹波篠山市長は「丹波篠山市と包括連携協定を結ぶ神戸大学では、多くの



酒井市長から表彰盾を受け取る田中丸室長

の学生が市内の集落で農業や環境問題に取り組むことにより、地域が活性化している。また、JR 篠山口駅に設置された神戸大学・丹波篠山市農村イノベーションラボでは、市と大学が連携して起業支援を進めている。さらに市民の健康づくりでも、大変大きな役割を果たしている。」と本学の功績を述べられました。

丹波篠山市は、大学院農学研究科の前身である兵庫県立農科大学が 1949 年から 1966 年まで所在したところであり、本学とは縁深い地域です。2006 年 11 月に拠点施設「丹波篠山フィールドステーション」を開設し、2016 年 10 月には JR 篠山口駅構内に「神戸大学・丹波篠山市農村イノベーションラボ」が開設されました。ここでは特に、若者の起業・継業支援や、移住・定住促進を目的とした事業が展開され、具体的なプログラムの一つとして「篠山イノベーターズスクール」が開講しています。



丹波焼で作られた表彰盾

COC+ ひょうご神戸プラットフォーム協議会および事後評価

本学では、2015 年度に採択された、地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）「地域創生に
応える実践力養成ひょうご神戸プラットフォーム」事業にも精力的に取り組んできました。本事業では、本
学及び県内 COC 大学、自治体、経済団体、神戸新聞社等が一体となってプラットフォームを形成し、地域
の課題解決に資する人材育成と学生の地元定着を目指す事業を展開してきましたが、『地域づくりの基礎知
識』シリーズ（全 5 冊、神戸大学出版会）の刊行、全学共通授業科目「ひょうご神戸学」「地域社会形成基礎論」の新規開講、地元定着インタビュー
誌の発行などの成果を上げて 2019 年度をもって終了しました。2020 年
12 月 22 日にはプラットフォーム協議会を開催し、COC+ 事業の取りまとめを行うとともに今後のプラットフォームのあり方について議論がなされ
ました。2021 年 3 月には、COC+ 事業委員会から本事業の最終的な評価結
果として「A 評価」が提示されました。



MUSUBU

歴史文化をめぐる地域連携協議会を開催しました

2020年12月19日、第19回歴史文化をめぐる地域連携協議会が開催されました。協議会は、新型コロナ感染拡大防止の観点から、オンラインで開催し、午後からのテーマ協議のみとなりましたが、県外からの申し込みも多数あり、89名の参加を得ました。

第19回のテーマは「古文書を読む、楽しむ、活かすーコロナ禍の中で考えるー」としました。地域に残された古文書は、地域の歴史に触れるための重要な手がかりであり、各地には古文書の整理・判読に取り組む地域団体が多く存在しています。しかし、対象となる資料やそれを扱う人によって、活動の方法や抱える問題は様々です。また、今年に入ってからは、コロナ禍のため、活動を縮小せざるをえない状況も生まれています。

こうした状況を踏まえつつ、今回は「高砂古文書の会」「猪名川古文書を楽しむ会」「宝塚の古文書を読む会」「平野歴史民俗研究会」から報告をいただきました。活動を継続していく秘訣や、地域の人に古文書を読んで得られた成果を知ってもらうための工夫など、具体的な活動事例が報告され、参加者からは、「参考になった」という感想が多数寄せられました。

また、人文学研究科地域連携センターの事業である「まちづくり地域歴史遺産活用講座オプションプログラム古文書初級講座」と「神戸大学近世地域史研究会」からは、コロナ禍の中ではじまった、オンラインによる活動についての報告がありました。

協議会の最後には全体討論の時間が設けられ、地域の歴史を紐解くための身近な存在である古文書の将来的な保存・活用のあり方について、参加者との間で活発な質問や議論が交わされました。

灘区 大学と連携したまちづくりチャレンジ事業助成報告会&交流会が開催されました

この事業は、本学と灘区との協力協定に基づき、地域の課題の解決および魅力の向上を目的として実施するもので、今年度は本学から4件の事業が採択され、灘区からの支援を受けています。

例年、事業に採択された教員や学生が一堂に会して行ってきた本会は、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、2021年1月10日にZoomを用いたオンライン開催となりました。神戸海星女子学院大学、神戸松蔭女子学院大学、本学の各団体の他にも、区内で活動する3団体も含め活動報告がありました。その後、参加者が3班に分かれ、各活動の質疑応答や、コロナ禍での活動上で苦労した点や工夫した点などが話し合われました。特に高齢者や外部参加者対象の企画では、例年対面実施のイベントやワークショップが軒並み中止になったこと、オンラインによる企画への変更が目立ちました。一方で、感染追跡システムの導入・対策宣言ポスター掲示・検温・アルコール消毒・マスク着用依頼（予備のマスクも用意）・一方通行・入場規制・ワークショップの中止など感染症対策を徹底し、コロナ禍による活動制限を逆手にとって、「2mのソーシャルディスタンス」という新たな距離感の中から灘区の魅力を見してもらいインスタレーションを企画した、まちプロジェクトのような団体もありました。その他、各団体間でコラボ企画についての提案もあり、全員参加型のオンライン会議の特質を活かした、充実した会となりました。



今年度はオンラインでの開催

神戸大学地域連携活動発表会を開催しました

2021年1月29日に令和2年度神戸大学地域連携活動発表会「コロナ禍における地域連携～次の一步を考える～」をオンライン開催しました。

これまでの地域連携活動は、地域住民の方々との直接的なふれあいの中で展開してきましたが、本年度は、新型コロナウイルスによる感染症の拡大を防止する観点から、現地での活動が制限されました。一方、そのような制限の中でも様々な工夫を重ね活動を継続している団体もあります。そこで、今回の発表会では地域連携推進室の活動や、学内から公募した教職員及び学生諸君の地域における様々な取組事業について、現状と課題を紹介するとともに、県内の芸術文化活動に関するアンケート調査等の事例も発表しながら、ポストコロナの地域社会と大学とが安心して連携できるための方策について、意見を交わしました。

第一部の学内公募事業報告では、地域連携推進室からの支援を受けた公募事業のうち、教員2件、学生2件のプレゼンテーションがあり、これら以外の事業についても、オンライン上でポスターを閲覧できるよう工夫をしながら報告が行われました。

(発表事業一覧)

教員	「戦災アーカイブ資料」の常設展示に向けた学術的な基礎作業	ポスター
	経済学と医学の連携による文理融合・地域活性化事業	ポスター
	兵庫県内の医療過疎地域の高校生を対象とした医療系人材育成促進事業	プレゼンテーション
	青少年のネット・ゲーム依存対策のための「神戸モデル」構想	ポスター
	丹波篠山産黒大豆（丹波黒）の積極的摂取による大腸がん予防効果の調査	ポスター
	鶴甲団地・有野台団地 再生・活用プロジェクト	プレゼンテーション
学生団体	子どものためのコンサート第13弾 「フルーツ！フルーツ！フルーツ！～たたいてみよう 音楽のトビラ～」	プレゼンテーション
	ハーブソルト「神大ふるふる」の販促活動を通じた山之内地区の情報発信	プレゼンテーション
	母子にやさしい街づくり	ポスター
	森林動態調査にもとづく都市緑地の持続的管理計画の提案	ポスター

第二部では、「コロナ禍における地域連携～次の一步を考える～」というテーマに沿って、松下正和特命准教授による地域連携推進室の活動報告に続いて、2件の事例発表がありました。

(事例発表)

新型コロナウイルスの影響下における兵庫県内の芸術文化活動に関するアンケート調査

国際文化科学研究科 藤野 一夫 教授

地域密着型サークル にしき恋

田中 瞳華（経営学部学生）

会の最後には全ての発表者、参加者が今後の地域連携の在り方についてオンライン上で意見交換を行い、次の一步を考えるきっかけとなりました。地域連携推進室では、引き続き大学の教職員、学生諸君による地域における様々な活動を支援してまいります。

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う社会情勢の中での取組み with/post コロナ

現在、世界中で猛威を振るう新型コロナウイルス感染症の拡大が我々の社会や経済の多方面に多大なる影響を与えています。「with コロナ」や「post コロナ」という言葉に象徴されるように、今後社会の在り方や価値観が大きく変化していく中で、本学は文理の枠を超えた様々な貢献を使命の1つと考え、兵庫県の多様な地域社会が抱える課題に対して、課題解決を図る関連研究・調査等を通じて with/post コロナ社会に向けた取組みを展開しました。

①神戸市「大学発アーバンイノベーション神戸」

神戸市の助成を受けて、本学からは10件の研究テーマが、新型コロナウイルスへの対応など行政課題の解決に取り組みました。

②兵庫県「ポストコロナ社会に向けて～兵庫からの挑戦～」

兵庫県の助成を受けて、本学からは7件の研究テーマが、ポストコロナ社会を先導する取組みを行いました。

③神戸市「KOBE 学生サポート 市内大学等応援助成」

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、大きな影響を受けた神戸市内の大学・学生を対象に、ふるさと納税を活用した助成制度を神戸市が全国で初めて創設し、本学においても学生への支援に活用しました。



活動報告 (令和2年10月～令和3年3月)

R 2. 10. 3	(大学)	地域社会形成基礎論 (第3クォーター) 開講 (オンライン)
R 2. 10. 7	(大学)	ひょうご神戸学 (第3クォーター) 開講 (オンライン)
R 2. 10. 23	(大学)	丹波篠山市・神戸大学連携推進協議会 (オンライン)
R 2. 11. 3	(大学)	丹波篠山市功労者表彰受賞
R 2. 11. 12	(大学)	神戸市長と学長との懇談会特別フォーラム (オンライン)
R 2. 12. 2	(大学)	ひょうご神戸学 (第4クォーター) 開講 (オンライン)
R 2. 12. 5	(大学)	地域社会形成基礎論 (第4クォーター) 開講 (オンライン)
R 2. 12. 19	(人文)	歴史文化をめぐる地域連携協議会 (オンライン)
R 2. 12. 22	(大学)	ひょうご神戸プラットフォーム協議会 (オンライン)
R 3. 1. 10	(大学)	灘区 大学と連携したまちづくりチャレンジ事業助成報告会・交流会 (オンライン)
R 3. 1. 29	(大学)	神戸大学地域連携活動発表会 (オンライン)
R 3. 2. 12	(大学)	神戸のつどい出展 (オンライン: アバターを活用した3D仮想空間)
R 3. 2. 27	(農学)	丹波篠山研究発表会 (オンライン)
R 3. 3. 19	(保健)	保健学研究科地域連携センター活動報告会 (オンライン)
R 3. 3. 26	(大学)	灘区×神戸大学 灘★こども塾